

首都高道路・羽田線
の東品川橋・鮫洲埋立
部区間で更新工事が始
まっている。大林組を筆
とする共同企業体(JV)
の工事長、山口匡さん
(47)は機械・電気設備
などを担当。現場を支え

難工事支える「機電屋さん」

大林組
(大阪府立高専卒)
山口匡さん

海上部に建設されたが、
長期プロジェクトだ。
機械・電気を担当する
通称「機電屋さん」はど
の建設現場にもいるわけ
ではない。電源設備を多
数使う大規模工事、トン
ネル工事、難工事などの
現場に配属されるスペシ
ヤリストだ。繁忙な時期
だけ現場に呼ばれること

変電所点検、荒天いとわず

京浜急行電鉄
(サレジオ高専卒)
深山 優太さん

深山 優太さん

「電車を止めないため
にも、カップを着てメン
テナンスに出掛けます
よ」。京浜急行電鉄の鉄
道本部電力課、深山優太
さん(27)は雷雨でも勇
んで点検にあたる。電車
に電気を送り出すのに欠
かれない変電所の様子を
見に行くためだ。
最近では首都圏でもひ
ょうが降ったり台風が続
いて襲来したりした。そ
うした時でも変電所の点
検が求められる。

仕事とはいえ、激しい
風雨の中の点検作業は
敬遠したくなるもの。そ
れでいて鉄道にトラブル
があると影響は甚大で責
任も大きい。脚光を浴び
にくい仕事だが、大切な
「裏方」であることは間
違いない。
深山さんはサレジオ工
業高等専門学校(東京都



が多く、工事の最初から
最後まではいない。山口
さんも現場勤務18年で15
年経たない。山口さん
は「現場から「まじめで
信頼できる」と強く希望
され呼ばれた。1・9キロ
の区間に出入り口が3
カ所しかなく作業スベー
スも狭い現場に効率的に
機械を搬入する必要がある
ためだ。山口さんは
山口さんは大規模工事の
ペシャリスト



金沢変電区(横浜市)で鉄
道の順調な運行を支える深
山さん
任の勤めもあり、京急電
鉄の京急蒲田駅(東京・
大田)での立体交差事業
や車両メンテナンスの様
子を見学。ロボットコン
テストへの出場を目指し
て勉強していた深山さん
には「鉄道が新鮮に映っ
た」。2011年4月、
京急電鉄に入社した。
もちろん日ごろから沿
線の変電所を定期点検し
ている。深山さんは金沢
変電区(横浜市)で三浦
半島の8カ所を2週間に
1回点検。4人でチーム
を組み異常がないか確認
する。そんな地道な作業
の繰り返しだが、同社で
は専門知識を持つ高専出
身者が活躍しているケー
スもあるという。
変電所では異常時には
職場が一丸となって対処
(岩本圭剛)